

昌一金属支部第五八回定期大会報告

新執行体制を選出!

昌一金属支部執行委員会

去る九月一日(金)午後一時三〇分から、田中機械ホールにて昌一金属支部第五八回定期大会を開催しました。

組合員の皆さんには、午前中の仕事を終えての結集、ご苦労さまでした。また来賓に駆けつけていただいた地域の仲間皆さま方には厚くお礼申し上げます。

今大会は、長年にわたって支部の要職を歴任してきたN委員長が勇退される節目の大会でした。



勇退されるN委員長

今日の支部の土台をつくった故浜里元委員長時代に、闘争委員、執行委員、書記長として支え、九九年に浜里委員長が不慮の事故で急逝されてか

ら、相浦委員長体制を副委員長として支えてきました。そして〇二年から十五年間、委員長として支部と港合同に責任を取ってきたのです。

しゃべるのと書くことはとても苦手ですが、自ら率先して走り回り、支部や港合同の活動をやり抜く姿は労組活動家のお手本です。

今後、継続雇用で嘱託になっても、引き続き支部や港合同の支えとなり、知識や経験を伝えてい



ていただきたいと思います。

大会は、まず冒頭に田中機械闘争のビデオ「工場占拠・自主生産・破産法突破の記録」を鑑賞。

〇副委員長の開会挨拶で始まりました。A・O

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!

両議長を選出した後、支部を代表してN委員長の挨拶。今年の二月と大会当日に組合加盟した新入組合員二名が紹介されました。

そして来賓の方々からの挨拶です。

朝鮮総聯西大阪支部の沈基鳳委員長からは、朝



今期2名の新入組合員紹介

鮮高校の無償化裁判で画期的な大阪地裁判決が出されたことに触れ、その翌日に行われた南大阪納涼会は地域の参加も増え、料理も完売するなど大いに盛り上がったことが報告。東アジアの情勢では、日本国内でミサイルへの恐怖心が煽られ、マスクも米韓軍事演習にはあまり触れず、北の体制転覆が風潮になっていることとに危機感を表明し、朝日友好・親善を深めていきたいと挨拶をいただきました。

連帯ユニオン関西生コン支部の平山執行委員からは、生コン業界の実態で、中小がいつ倒産して

もおかしくない状況だったが、この間の運動の前進で相当な値戻しを実現していることを報告。さらに和歌山で労組と協力関係にある協同組合から、一部の経営が敵対・離脱、暴力団が介入する争議に組合員が結集して闘っていると挨拶されました。

連帯ユニオン近畿地区トラック支部から和田書記長とMK運輸分会の樋渡分会長が参加。大会で確立する運動方針に従って頑張ってもらいたいと激励をいただき、またMK運輸の争議への支援・連帯への感謝の言葉もいただきました。

港合同からは田中機械



トラック支部の仲間から連帯挨拶

支部のT委員長、大熊鉄工支部のH委員長、南労会支部のK委員長、そして港合同・中村委員長から、連帯のご挨拶をいただきました。

祝電も、この一年間の共闘・連帯の広がりを反映して、全国の労働組合・団体から十二本寄せていただきました。

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

休憩をはさんで議案の提起に入りました。

年間総括と地域闘争と活動経過、会計報告・予算、そして活動方針を執行部が分担して提起。

議案への質疑では、「核戦争起こるはずない。核保有が問題で許して良いのか?」「安倍政権について、戦後の日本をつくってきたのは自民党、

国民が選んだものを打倒と言って良いのか?」「原発、動いたことで昌一も恩恵あるのでは。反対は分かるが生活を第一に考えるべきではないか」など出されましたが、執行部答弁の後、すべての議案が確立しました。

議事の最後は役員選出です。選挙管理委員会の中原さんより立候補者が読み上げられ、全体の拍手で新しい執行部体制が承認されました。

新役員を代表してK新委員長が挨拶。新体制とということ、各役員は不安や葛藤もある中で立候補を決断したこと、今後



新役員登壇でインターナショナル

より一層組合員全体の団結・協力が必要であること、採択した活動方針を全力で貫徹しようと訴えました。

大会後の交流会には、支部OBや全港湾大阪支部の山元顧問も駆けつけていただきました。

中締めでN前委員長の労をねぎらい、支部から製品課のIさん、南労会支部からKさん、各々から花束の贈呈があり、Nさんを泣かせることに成功しました。

来賓あいさつで中村委員長もおっしゃっていましたが、平日の昼間に、仕事を止めて組合大会をやれるのは並のことでは

ありません。大争議の歴史は無くても、争議支部を支え、常に地域闘争に結集して闘ってきた我が支部の存在は決して小さなものではないと思います。

今、安倍政権は森友・加計疑獄のように腐り果てた姿を晒しながら、あくまで改憲と戦争へと突き進んでいます。労働組合の解体に向け、解雇自由と時間規制の撤廃、民営化と外注化・総非正規職化を進めています。

新体制の今期も港合同の一員として奮闘したいと思えます。地域の仲間の皆さん、よろしくお願います。

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!